



職員紹介④

※内容は取材当時のものです。



給食を検食しています

教育部食育推進・給食ステーション
主任

職種: 栄養士
令和5年度入職

とある1日のスケジュール



- 7:30 メールチェック 決裁文書の確認
- 7:45 食材検収、給食調理進捗確認、味見
- 11:00 地場野菜会議
(地元の農家さんと打ち合わせ)
- 12:00 昼休憩(給食を食べる)
- 13:00 栄養士打ち合わせ
- 13:35 調理員と2か月先の予定献立
打ち合わせ
- 14:00 翌日の小学生来訪準備
- 15:00 アレルギー対応食に関する資料作成
- 16:15 退庁

Q1.現在の仕事内容

小中学校給食における栄養士に関わる業務全般(献立作成・アレルギー対応食資料作成・発注・検収・味見・試食会や食育イベント・小中学生への食育授業等)

Q2.職場の雰囲気

食育推進・給食ステーションは、明るく協力的な雰囲気が魅力です。調理員や事務職員との連携もよく、チームで協力しながら安全でおいしい給食作りに取り組んでいます。

Q3.国立市に就職を決めた理由

子どもたちの成長を大切にしている国立市の教育方針に魅力を感じ、栄養士として力を発揮できると考えました。食育にも積極的に取り組む姿勢に共感し、自分の経験を生かして地域に貢献したいと思志望しました。

Q4.仕事のやりがい

自分が考えた献立を子どもたちが「おいしい!」と食べてくれることが何よりの励みです。食べるのが大好きな自分だからこそ、楽しさやおいしさを給食で伝えられることに大きなやりがいを感じています。

Q5.国立市の良いところ

自然が身近にありながら、落ち着いた街並みが広がり、働きやすく暮らしやすい環境です。市民の方々も温かく、地域の繋がりを大切にしているところが魅力です。教育や子育て支援も充実していると感じます。

Q6.受験者へのアドバイス

栄養士の仕事は知識だけではなく、周囲と協力しながら進める姿勢が大切です。自分の得意分野や思いをしっかりと伝えることで、きっと力を発揮することができるでしょう。食への関心や市民への思いを大切に臨んでください。